

予報期間 4月19日から4月25日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 21日は、低気圧は日本の東へ進み、高気圧が日本海を東へ移動する。
- 22日は、高気圧は日本の東へ移動し、低気圧が日本海西部で発生する。
- 23日から24日にかけて、低気圧が日本海を北東へ進み、前線が日本付近を東進する。
- 24日から25日にかけて、高気圧が東シナ海を東へ移動し、低気圧がサハリン付近からオホーツク海へ進む。

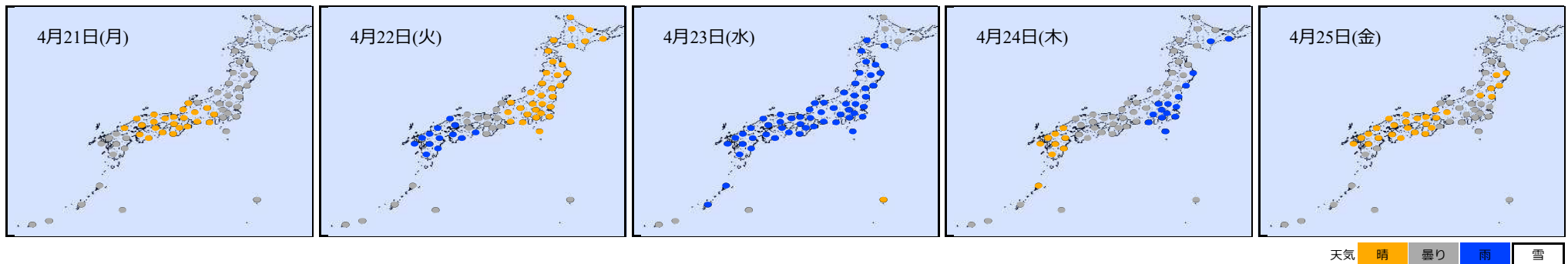
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

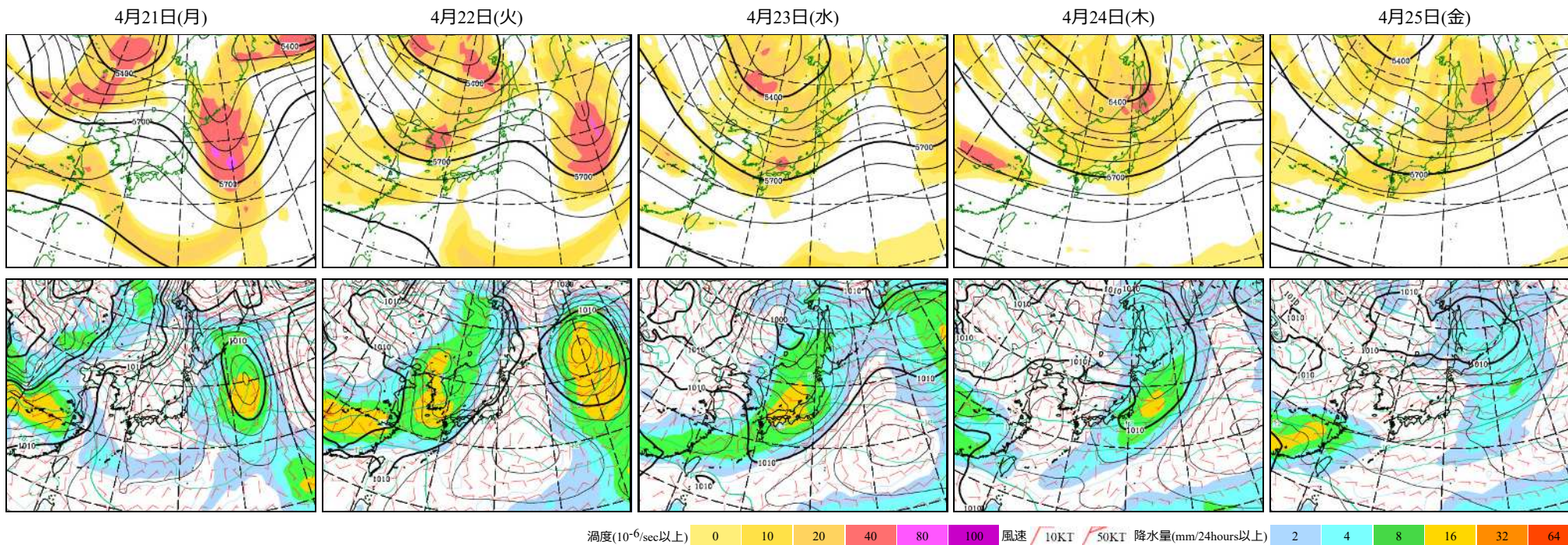
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

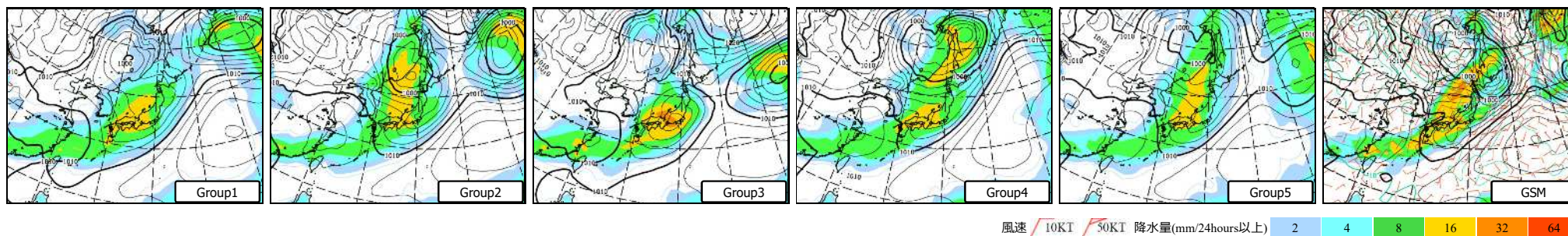


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨の降る日が多いが22日は晴れる所が多い。
- 東日本太平洋側は、晴れや曇りの日が多いが23日から24日は雨の降る所がある。
- 西日本は、晴れや曇りの日が多いが22日から23日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく23日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月23日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、21日は日本海を東へ移動する高気圧の東進が早くなり、22日から24日にかけて日本付近を通過する気圧の谷の東進も早くなった。
- 22日は、気圧の谷の東進が早くなった影響で、西日本で降水確率ガイダンスの値が高くなった所がある。
- スプレッドは、期間の後半大きく特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。